

大使館情報

2022年6月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) 閣僚の交代（鉱山エネルギー大臣）
- (2) モラエス連邦最高裁判所判事に対する刑事告訴
- (3) 社会保障政策「アウシリオ・ブラジル」の最低給付額の固定化
- (4) ボルソナーロ政権の支持率
- (5) 2022年大統領選に関する世論調査
- (6) ペルナンブーコ州の災害対応

[外交]

- (1) フランサ外相のウルグアイ訪問
- (2) ボルソナーロ大統領のガイアナ共和国訪問
- (3) UAE 大統領逝去の弔意・新大統領就任への祝意の表明
- (4) BRICS 外相会合（オンライン）の実施
- (5) 第6回伯中ハイレベル協議協力委員会（COSBAN）（オンライン）の開催
- (6) アフリカの日祝賀行事の開催

3. トピックス

- (1) 林大使のゴイアニア市訪問（2022年5月22日～23日）
- (2) 林大使とリオ・ブランコ学院生徒との語る会の実施（5月27日）
- (3) 林大使のアニメサミット2022への参加（5月28日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢 (5月発表の経済指標)

- (ア) 2022年第1四半期の実質GDP成長率は前期比+1.0%、前年同期比+1.7%となった。
- (イ) 3月の鉱工業生産指数は前月比+0.3%、前年同月比▲2.1%となった。
- (ウ) 3月の小売売上高は前月比+1.0%、前年同月比+4.0%となった。
- (エ) 4月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+1.06%となり、前月(+1.62%)から上昇幅は0.56%ポイント縮小。直近12か月累計は+12.13%となり、前月(同+11.30%)から上昇幅は0.83%ポイント拡大した。
- (オ) 失業率(2~4月)は10.5%となり、3か月前(2021年11月~2022年1月)の移動平均11.2%から0.7%ポイント低下。また前年同期比(2021年2~4月)の14.8%から4.3%ポイント低下した。
- (カ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査(Focus調査)については、職員によるストライキの影響で更新は行われなかった。

(2) 経済政策等

- (ア) 5月18日、連邦会計検査院が電力公社エレクトロブラスの民営化を承認。
- (イ) 5月23日、経済省は大豆、パスタ、ビスケット、米、建材等、6,195品目に対する関税の10%引下げを発表。パンデミックやウクライナ情勢による影響を軽減するためのもので、2023年末までの措置。
- (ウ) 5月25日、下院議会において、燃料、天然ガス、電気、通信、公共交通機関に係るICMS(州税、商品流通サービス税)の税率について、上限を17%に設定する法案が可決、上院へ送付された。

(3) 金融政策

5月3日及び4日に開催された伯中央銀行金融政策委員会(Copom)において、政策金利であるSelic金利を100bp引き上げて12.75%とすることが決定された。政策金利の引上げは2021年3月以降10会合連続。次回会合は6月14日及び15日に開催。

(4) 為替市場 (レートは伯中銀の公表値から算出)

- (ア) 5月の為替市場は4.72~5.15リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.00~5.15リアル/ドルで推移。米国の金融引締めや中国の景気先行き懸念等を材料に、概ね下落傾向となった。
- (ウ) 月の後半は4.72~5.07リアル/ドルで推移。内外の金融政策を巡る動向(米での積極的な利上げ観測の後退、中国での利下げ等)等を材料に概ねレ

ル高傾向で推移した。

(5) 株式市場

(ア) 5月の株式市場は103,110～111,942ポイントで推移。

(イ) 月の前半は103,110～108,344ポイントで推移。中国の景気先行き懸念や資源価格の動向等を材料に、概ね下落傾向となった。

(ウ) 月の後半は106,247～111,942で推移。国内での民営化の進展や燃料費に係る税制を巡る動向の他、資源価格上昇等を材料に、概ね上昇傾向となった。

2. ブラジル政治情勢 (5月の出来事)

【内政】

(1) 閣僚の交代

5月11日付でアルブケルケ鉱山エネルギー大臣が辞任し、アドゥルフォ・サクシダ経済省戦略担当特別顧問が、後任として就任した。

(2) モラエス連邦最高裁判所判事に対する刑事告訴

5月17日、ボルソナーロ大統領は、連邦最高裁判所(STF)に対し、モラエス STF判事を権力乱用により刑事告訴した。翌18日、トフォリ STF判事は同刑事告訴を棄却した。

(3) 社会保障政策「アウシリオ・ブラジル」の最低給付額の固定化

5月18日、連邦政府は、社会保障制度「アウシリオ・ブラジル」による世帯あたりの最低給付金額について、これまで2022年末までの移行措置として400レアルとされていたものを、2022年末以降についても同金額で固定する旨の法令を裁可した。なお、支給対象世帯数は約1,810万世帯となる由。

(4) ボルソナーロ政権の支持率

5月11日、Quaest社が5月5日から8日にかけて2千人を対象に実施した世論調査の結果によると、ボルソナーロ政権の支持率は、25% (前回調査: 26%)、不支持率は46% (前回調査: 47%) となっている。

(5) 2022年大統領選に関する世論調査

(ア) 5月20日、Ipespe社が、5月16日から18日にかけて1千人を対象に実施した世論調査の結果によれば、第1回戦投票で投票したい人物はルーラ元大統領(PT)が44% (前月比-1%)、ボルソナーロ大統領(PL)が32% (前月比+1%) となっている。

(イ) 5月25日、Datafolha社が、5月25日から26日にかけて、2,556人を対象に実施した世論調査の結果によれば、第1回戦投票で投票したい人物はルーラ元大統領(PT)が48%(前回3月調査:43%)、ボルソナーロ大統領(PL)が27%(前回調査:26%)となっている。

(6) ペルナンブーコ州の災害対応

5月28日、伯北東部・ペルナンブーコ州にて、洪水や土砂崩れにより多くの家屋が崩壊し、大きな被害が発生したことへの対応としてブラジル陸軍及びブラジル海軍が犠牲者の捜索・救助及び物資輸送を行っている。

【外交】

(1) フランサ外相のウルグアイ訪問

フランサ外相は、5月3日モンテビデオを訪問し、ブスティージョ・ウルグアイ外相と会談を実施した。両外相は、域外共通関税の見直し等のメルコスールの近代化に係るアジェンダについて協議した。

(2) ボルソナーロ大統領のガイアナ共和国訪問

ボルソナーロ大統領は、5月6日ガイアナ共和国を訪問し、アリ・ガイアナ共和国大統領と面会し、二国間、地域、国際関係等の議題について包括的な協議を行い、共同声明を発出した。

(3) UAE 大統領逝去の弔意、新大統領就任への祝意の表明

伯外務省は、プレスリリースを通じ、5月13日にハリーファ UAE 大統領の逝去に伴う弔意を、また16日にムハンマド皇太子が新大統領に選出されたことに祝意を示す声明を発出した。

(4) BRICS 外相会合（オンライン）の実施

5月19日、中国議長の下、BRICS 外相会合がオンラインにて開催され、「BRICS 諸国の連帯及び協力の強化：新たな国際情勢の特徴及び議題への対応」と題された共同声明が採択された。第一部には BRICS 加盟国の外相が参加し、第二部では議長国に招待されたその他9カ国（サウジアラビア・アルゼンチン・カザフスタン・エジプト・アラブ首長国連邦・インドネシア・ナイジェリア・セネガル・タイ）の外相も参加した。

(5) 第6回伯中ハイレベル協議協力委員会（COSBAN）（オンライン）の開催

5月23日、モウラオン伯副大統領及び王岐山中国国家副主席が両議長を務め

る形で、第6回伯中ハイレベル協議協力委員会（COSBAN）がオンラインで開催された。両議長は伯中間の戦略的パートナーシップの10周年を祝い、今後数年間の両国関係の指針として、共同計画書（Plano Executivo 2022-2026）及び10カ年戦略計画（Plano Extratético 2022-2031）を発表した。

（6）アフリカの日祝賀行事の開催

5月25日、アフリカの日を祝う祝賀行事が伯外務省にて開催され、ボルソナーロ大統領他、フランス外相、Martim Mbeng 駐伯カメルーン大使等、関係者が参加した。

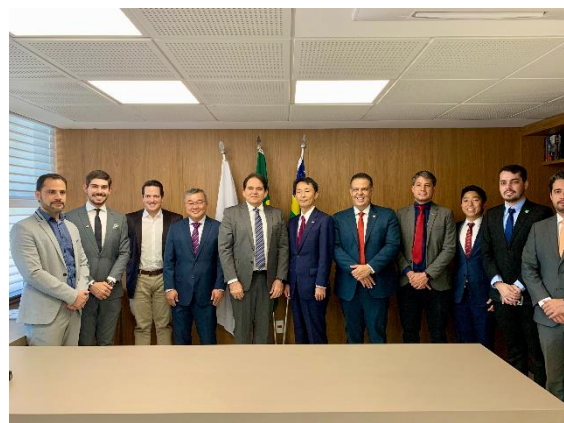
3. トピックス

(1) 林大使のゴイアニア市訪問 (2022年5月22日～23日)

5月22日～23日、林大使はゴイアス州ゴイアニア市を訪問。

22日夜にはゴイアス日伯協会主催の大使歓迎会に出席し、地域の日系社会との交流を深めた。協会施設を視察し、記念植樹を行った。歓迎会にはエドゥアルド・プラド・ゴイアス州議員やタレントのユージ・タマシロ氏も参加。

23日午前には、ゴイアス州議会にて実施された、ゴイアス州における「日本人移住の日」(6月18日)制定記念式典に参加し、スピーチを行った。また、同式典にてルドヴィコ・テイシェイラ議員賞メダルを受領した。同日昼にはAGREX DO BRASIL社の日本人駐在員と意見交換を行い、午後にはゴイアス州商業連盟(FECOMERCIO)会長のマルセロ・バイオッチ氏らと日本とゴイアス州の関係強化について意見交換を行った。



(2) 林大使とリオ・ブランコ学院生徒との語る会の実施 (5月27日)

5月27日、林大使はリオ・ブランコ学院(ブラジル外交官学校)の生徒らを大使館及び公邸に招き、「日本外交及び大使の経験」について講演を行った。その後、館員による日本外務省の仕組みと若手外交官のキャリアについてプレゼンが行われ、イベント後は館員らと交えた交流が行われた。



(3) 林大使のアニメサミット 2022 への参加 (5月28日)

5月28日、林大使はブラジリア市民公園にて実施された「アニメサミット 2022」に「鬼滅の刃」の竈門炭治郎のコスプレで参加し、冒頭挨拶を行った。その後、館員による日本のアニメ・漫画についての講演が行われた。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新中（以下リンク先をご参照されたい）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所 : [facebook](#)

在マナウス総領事館 : [facebook](#)

在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和3年度第4四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2022年4月5日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

i% GDP > \ š3Q

H ™GWGyH

1. 経済構造

1. Ç •(ÙH h 1,331S Ç F,8 ' (Ù 851S km² H202 P H
2. a#ú" 13) Fp) í0d •H i% GDP(ÙH ™ 8,08hGWGy
H202 P H ¥ •Fp (Ù33H H F¹ M Ç \FiGDPH(Ù7,56GW
GyH202 P H ¥ ¥ •Fp(Ù 19H F¹
3. a#ú w XFp3° G%o2(; \F÷FÒG FÜF, #Ø 9 \ Æ)r#Õ
#Ø GDPH F ÷ Fÿ" U #Ø H GCGŠGaGÜ9 *FÔG4G5
G2GVG" (G FöFÔG F¹
4. GDPG"7Â0[8o% 9F÷G G FøF, 0£ ~2 G)r [2(•
g BH ž2(H FøFÔFóFi Æ7ÂFÜ B6xFû \$ ZFçFöFÔG F¹

H ¼HMFWorldEconomicOutlookApr, 2022

i% GDPFp N&ã

H ™GzG0GyH

i% GDPFp#Ø 9 S B šH 202 P H

